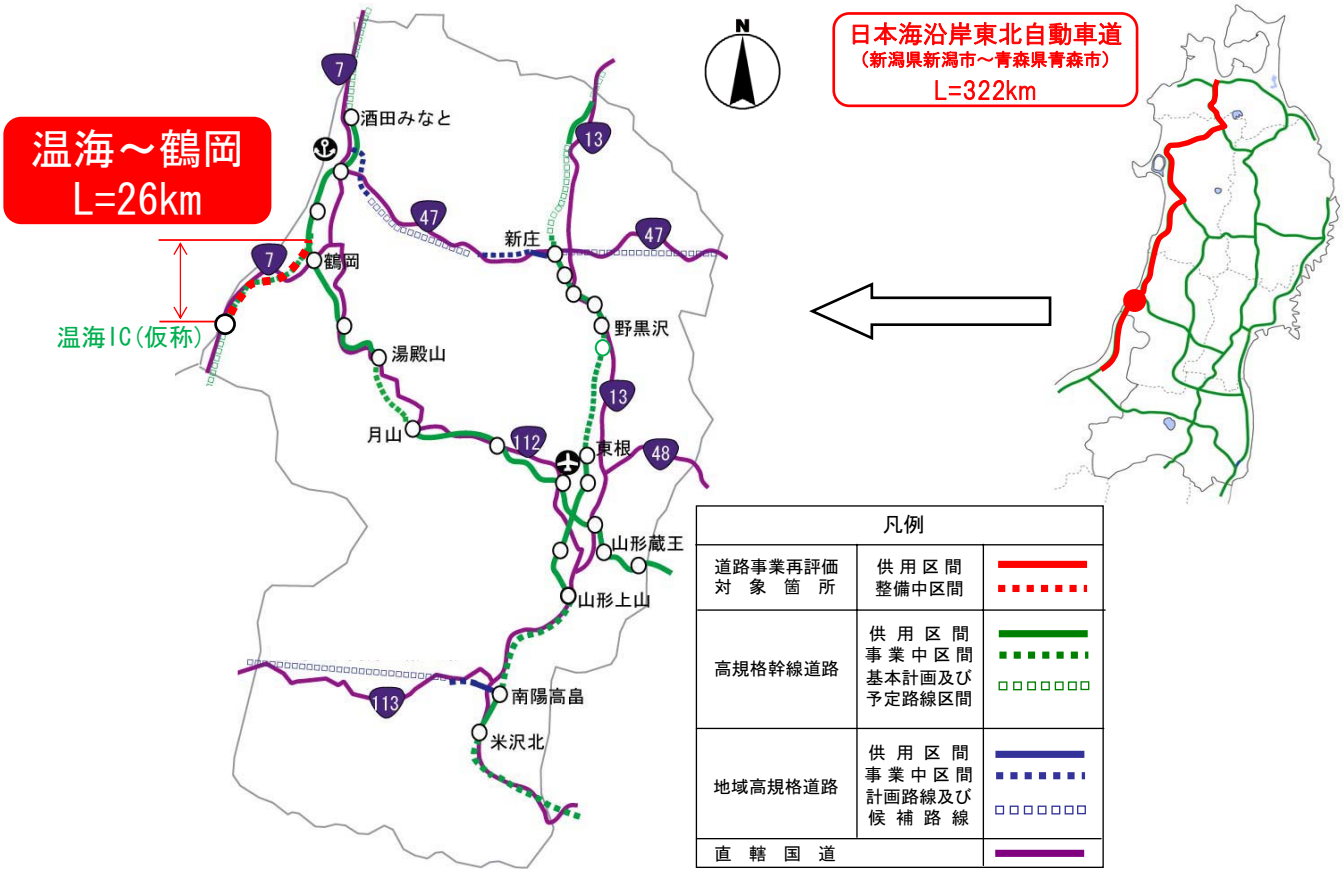
日本海沿岸東北自動車道　温海（あつみ）～鶴岡（つるおか）ＪＣＴ



事　業　実　施　状　況



日本海沿岸東北自動車道　温海（あつみ）～鶴岡（つるおか）ＪＣＴ

【評価要件：前回再評価後5年経過】

○事業の目的
- ・東北地方日本海側の交流・連携の促進
- ・安全性、信頼性の高い道路ネットワークの確保
- ・産業経済基盤の整備

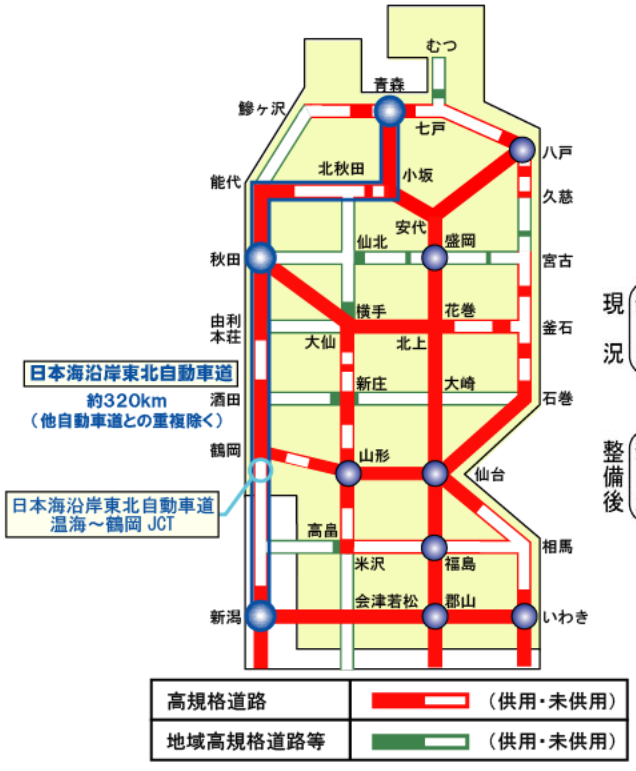
○延　　長：26km

○事 業 費：1，117億円

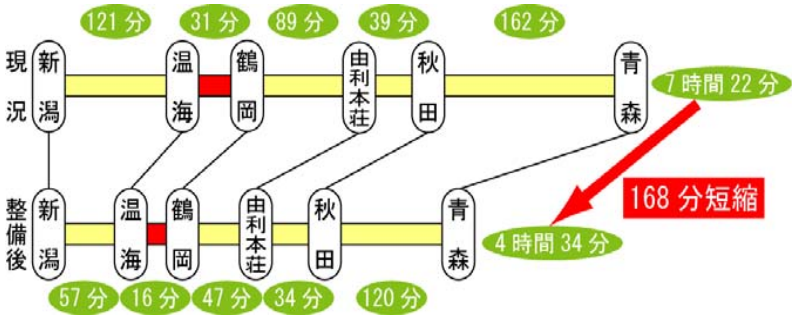
○事 業 化：平成9年度

○進 捗 率：57%

高規格幹線道路ネットワークの構築



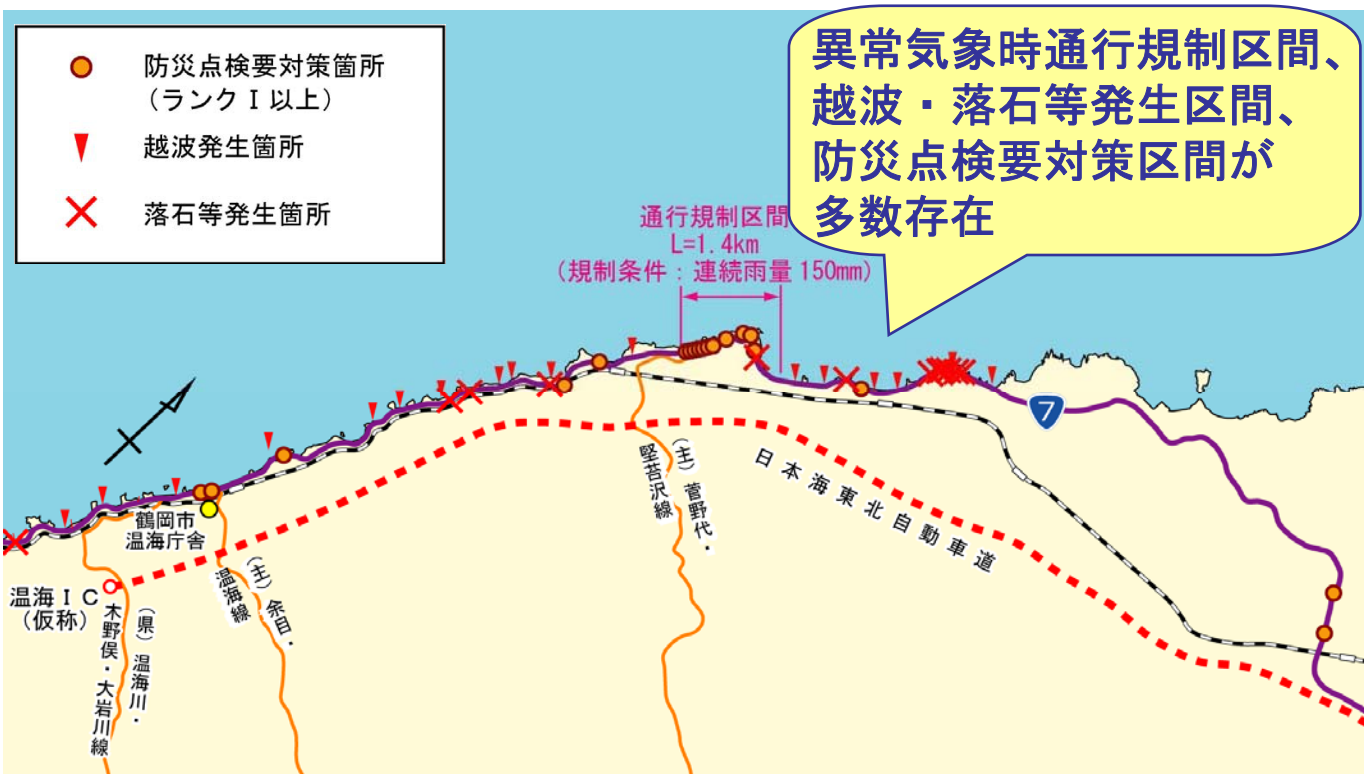
▲格子状骨格道路ネットワーク



▲新潟市～青森市間の所要時間の変化

資料：資料：07～08道路時刻表
整備後の速度は80～100km/hとして設定

災害に強い道路ネットワークの確保

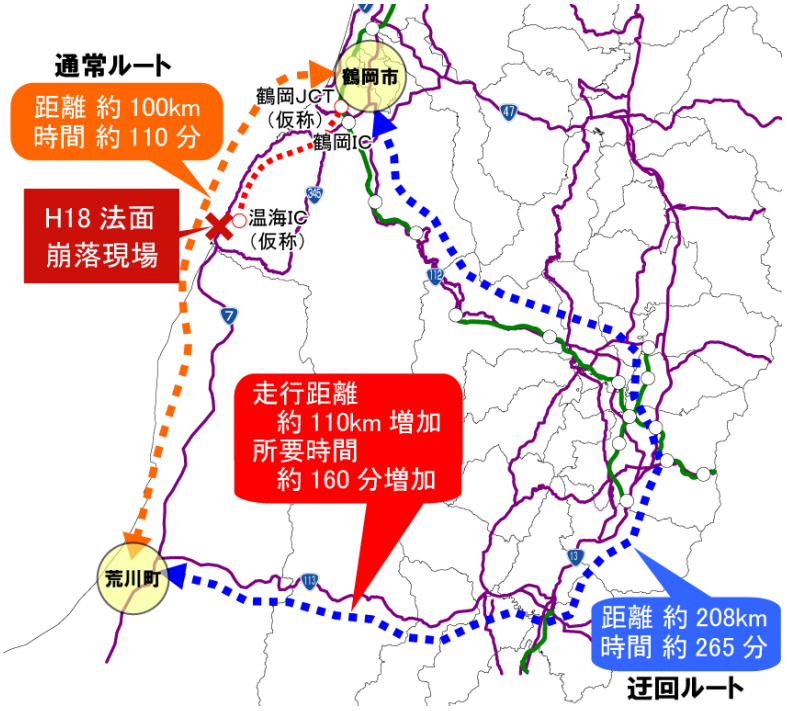


▲国道7号並行区間の通行規制区間、越波・落石等発生箇所、防災点検要対策箇所

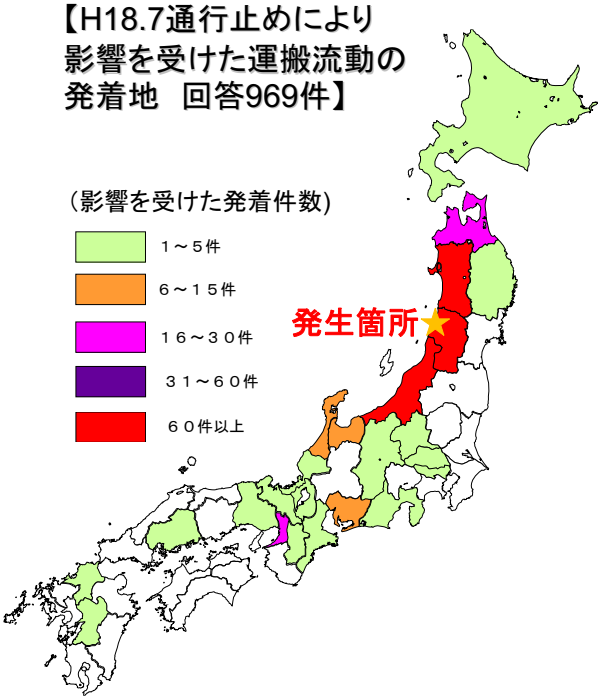
資料：酒田河川国道事務所

災害に強い道路ネットワークの確保

H18. 7国道７号鶴岡市小岩川で、法面崩落により42時間の全面通行止めが発生

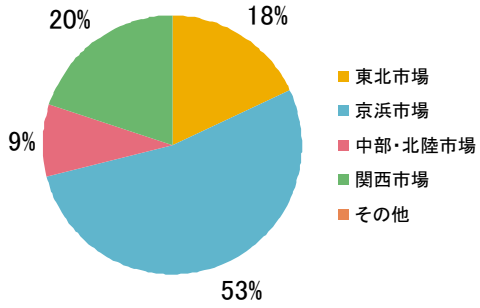


▲全面通行止め時の大型車迂回ルート　資料：酒田河川国道事務所



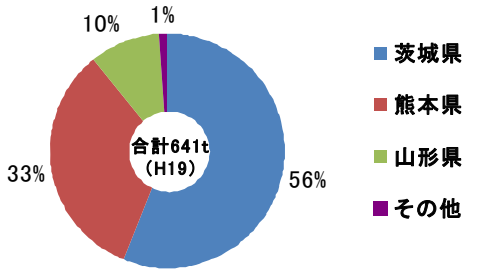
▲通行止めで影響を受けた運搬流動の発着地点
（アンケート調査結果より）

農業特産品の流通支援



資料：JA全農山形ヒアリングより

▲庄内産赤肉メロンの市場別出荷割合



▲関西市場クインシーメロンのシェア

資料：H19大阪中央卸売市場年報より

庄内～関西間の距離・時間

(現況)

距離：744km　時間9:49

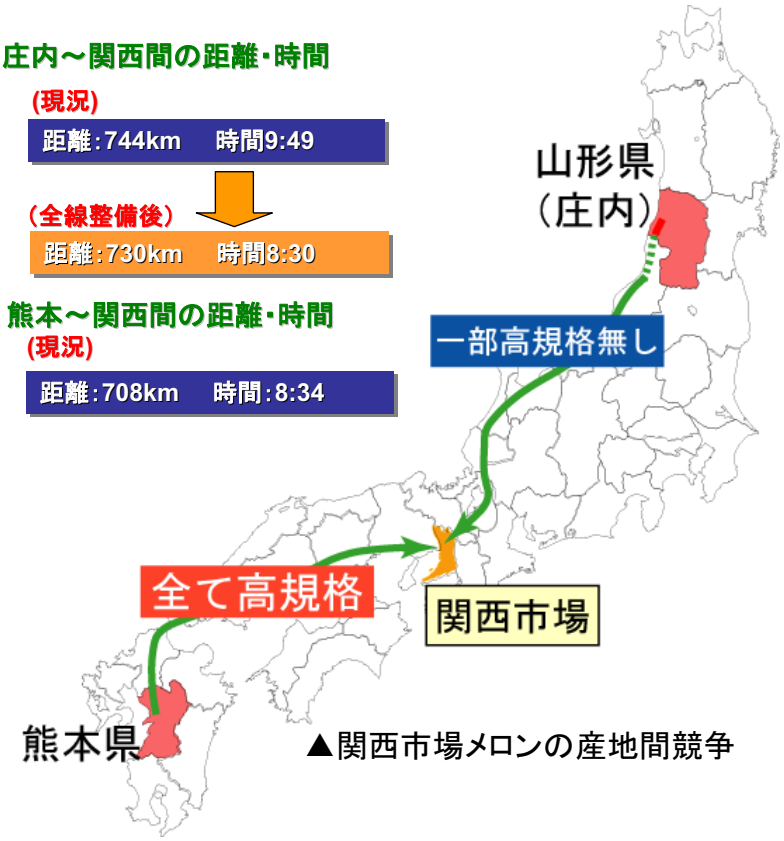
(全線整備後)

距離：730km　時間8:30

熊本～関西間の距離・時間

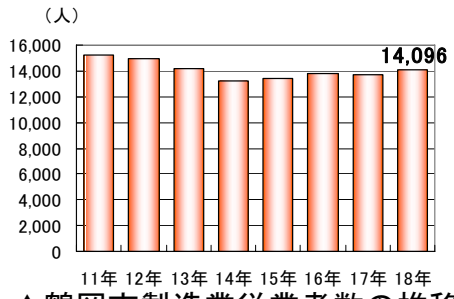
(現況)

距離：708km　時間：8:34

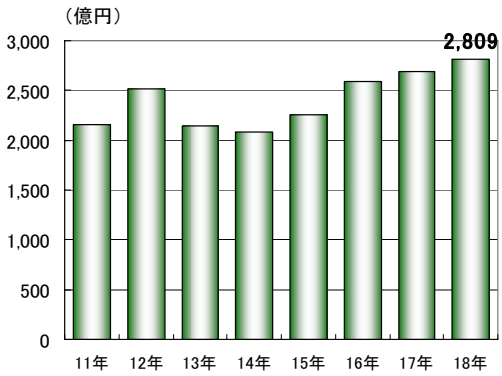


▲関西市場メロンの産地間競争

製造業の流通支援



▲鶴岡市製造業従業者数の推移



▲鶴岡市製造業出荷額等の推移

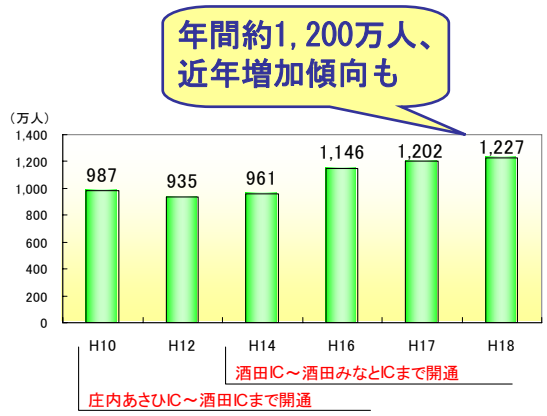
資料：山形県統計年鑑より



▲鶴岡市内の自動車部品製造工場の輸送ルート

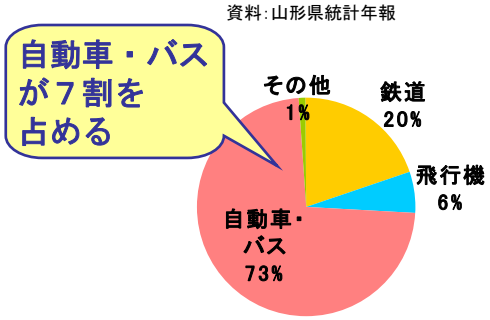
資料：工場ヒアリングより

広域観光の支援 –観光地へのアクセス向上–



▲庄内地域の観光客数の推移

資料：山形県統計年報



▲庄内への観光客交通手段

資料：庄内観光コンベンション協会



▲庄内地域の主な観光拠点と自動車利用の観光流動量

資料：H17全国幹線旅客純流動調査（代表交通機関が自動車の観光目的の流動量（秋季1日）を使用）

事　業　の　投　資　効　果

○費用便益比（B／C）
※下表の数値は、基準年（平成20年）における現在価値に換算した金額を記載

【残事業】

費用C（現在価値）	492億円
便益B（現在価値）	2，581億円
費用便益比　B／C	5．2

計画交通量（平成42年度）
・温海～鶴岡JCT＝13，800台/日　・現道＝4，000台/日

（参考）

費用便益比（Ｂ／Ｃ）

【道路公団民営化検討時のＢ／Ｃ】

【残事業】１．８　【全　線】１．７

【今回再評価時のＢ／Ｃ】

【残事業】５．２　【全　線】２．３

（道路公団民営化検討時の計画交通量）

・温海～鶴岡JCT＝　７，５００台／日

（今回再評価時の計画交通量）

・温海～鶴岡JCT＝１３，８００台／日

・現道　　＝　４，０００台／日

供用予定等今後の事業の見通し

・温海～鶴岡JCT間（L＝26km）については、平成23年度内に全線2車線供用を目標に事業推進を図る。



対　応　方　針　（　原　案　）

○早期整備の必要性が高い。

・東北地方日本海側の交流・連携の促進

・安全性、信頼性の高い道路ネットワークの確保

・産業経済基盤の整備

○地元自治体等からの事業促進の要望がある。

事業を継続実施